

ITP関係修了生の就職、進学先等

ITPを修了した学生は、国際機関や大手コンサルタント海外事業部等で活躍中です。

- 就職** (内定先も含む)
- 国際協力機構 (JICA)
 - (株) 建設技術研究所
 - 日本赤十字社
 - 青年海外協力隊
 - 国際航業株式会社
 - 地域未来研究所
 - 日本工営株式会社
 - (株) ネモト・サイエンス
- 進学**
- 鳥取大学大学院連合農学研究科 (博士課程)

ITP修了生の今

学部時代から「砂漠化の進行している乾燥地で木を植えたい」と思っていたので、それを実現するべく、青年海外協力隊に応募し、現在は植林隊員としてマリ共和国へ来ています。マリでは環境省、水・森林局に配属され、並木道プロジェクトによる植林、女性グループによる非木材森林商品の改善と促進、改良かまどの修復と普及などを主な活動として行っています。

多くの日本人にとっては単に「アフリカ」もしくは「乾燥地」として知られてしまう地域ですが、ITPに参加したことにより、サハラ砂漠の北側と南側の気候的な違いや生息する樹木などの違いなどを直に感じています。また、学術的なことだけでなく、ITPによって身につけた地域の人のコミュニケーションの仕方なども今の活動に活かしています。

みなもと みえ
源 実恵 ITP第1期生



青年海外協力隊で活躍中

鳥取大学 若手研究者インターナショナル・ トレーニング・プログラム

～乾燥地における統合的資源管理のための人材育成～



Q&A

Q. 応募の条件を教えてください。

A. 基本的に、応募時に修士1年生の学生さんを対象としています。
これは、鳥取大学のプログラムが**MSプログラム**(統合的乾燥地利用に関する共同修士号プログラム)を活用していることによるもので、現在は学部学生、博士課程学生さんは応募できません。
修士2年生の学生さんで応募を希望される場合は、個別にご相談に応じます。
また、修士1年生になったら参加してみたい!と思われ方は、募集説明会に参加いただいても構いません。

Q. 派遣学生の選考について教えてください。

A. まず、鳥取大学内の選考を行い、5名程度の候補者を決定します。ただし、学内の募集は最終的に「統合的乾燥地利用に関する共同修士号プログラム (MSプログラム)」国際公募に推薦する者を選定するための募集であり、プログラム派遣に採用されることを確定するものではありません。正式には、MSプログラム委員会(7月頃開催予定)で派遣学生、派遣先を決定します。

Q. 長期海外に滞在するのは不安です。派遣が決まったら、サポートはありますか？

A. 選考後、派遣が決まったら、参加学生さんを対象として、教員や職員による派遣事前説明会を数回実施し、渡航に関するアドバイス等を行います(全5~7回程度実施)。
また、派遣前に英語研修を行い、語学力アップをサポートします。
派遣中は担当教職員がメール等で随時相談に応じています。また指導教員、プログラム担当教職員が現地を訪問し、研究、生活面をサポートします。異なる文化・習慣の国に長期間滞在することになりますので、ある程度の心構えが必要です。家族の同意がない場合、長期滞在に耐えられない持病がある場合などは参加できません。

Q. ITPに参加すると、単位になりますか？

A. 単位にはなりません。修士1年後期と修士2年前期は基本的に履修ができなくなりますので、2年で修了を希望する場合は修士1年前期にできるだけ多くの単位を取るようによしてください。

ITPに関するお問い合わせ……

鳥取大学 研究・国際協力部 国際交流課

680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101 TEL 0857-31-5052



詳しくはホームページをご覧ください。

URL <http://rendai.muses.tottori-u.ac.jp/japanese/ITP/>

鳥取大学 ITP 検索